

指定管理者に係る令和元年度事業報告書 及び令和2年度事業計画書について (埼玉スタジアム2002公園)

指定管理者：公益財団法人埼玉県公園緑地協会（令和元年度）
：埼玉スタジアム2002公園マネジメントネットワーク
（令和2年度～令和6年度）

1 令和元年度事業報告書の概要

(1) 管理業務の実施状況

- ア 大規模試合の誘致を行った。
- イ 安全に利用ができるよう公園の維持管理を行うとともに利用者に親しまれる公園づくりを進めた。
- ウ サッカーグラウンドは、きめ細かい維持管理を行い、年間を通して良好な芝の状態を確保した。
- エ サッカーの試合以外にもe-スポーツ国体予選の開催やラグビーワールドカップ日本代表戦パブリックビューイングなど、スタンドを活用したイベントを開催した。
- オ 地域と連携を図りながら全国キッチンカーグルメ選手権などにぎわいを創出するためのイベントを開催した。
- カ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、大会組織委員会等と協力体制を構築し調整を行った。

(2) 施設の利用状況

施設名	H27	H28	H29	H30	R1
スタジアムほか	1,452,094人	1,434,820人	1,422,418人	1,238,210人	1,288,303人

※ 令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年3月19日以降、施設の供用を休止している。

- (R1大規模試合等) ・日本代表戦 1試合
・浦和レッズ戦 24試合 (Jリーグ等)
・JリーグYBCルヴァンカップ 決勝1試合
・Rakuten CUP 1試合 ほか

(3) 収支状況

(単位：千円)

項目	決算額 a	予算額 b	決算額と予算額の比較		備考
			差額 c=a-b	差額の発生理由	
指定管理料	302,932	302,932	0		
利用料金収入	477,358	422,164	55,194	試合数の増	
その他収入	224,334	213,968	10,366	売店収入の増	
収入合計	1,004,624	939,064	65,560		
人件費	89,840	88,632	1,208	人員変動による増	
事業費	883,407	850,432	32,975	精算金、樹木剪定費用の増	
支出合計	973,247	939,064	34,183		
収支差額	31,377	0	31,377		

2 令和2年度事業計画書の概要

※ 当該事業計画書は、年度開始前に指定管理者から提出された事業計画書であり、新型コロナウイルス感染症の影響は反映されていない。

(1) 基本的な考え方

- ア 将来のまちづくりを見据えた管理運営、安心安全なまちづくりへの寄与
- イ 多様なイベントや本公園ならではの独自性のある企画を開催
- ウ 国際大会の積極的な誘致等に努め、日本一のスタジアム、サッカーの拠点化を推進
- エ 東京2020大会の成功に貢献し、スポーツ文化の発展に繋げる。

(2) 事業計画

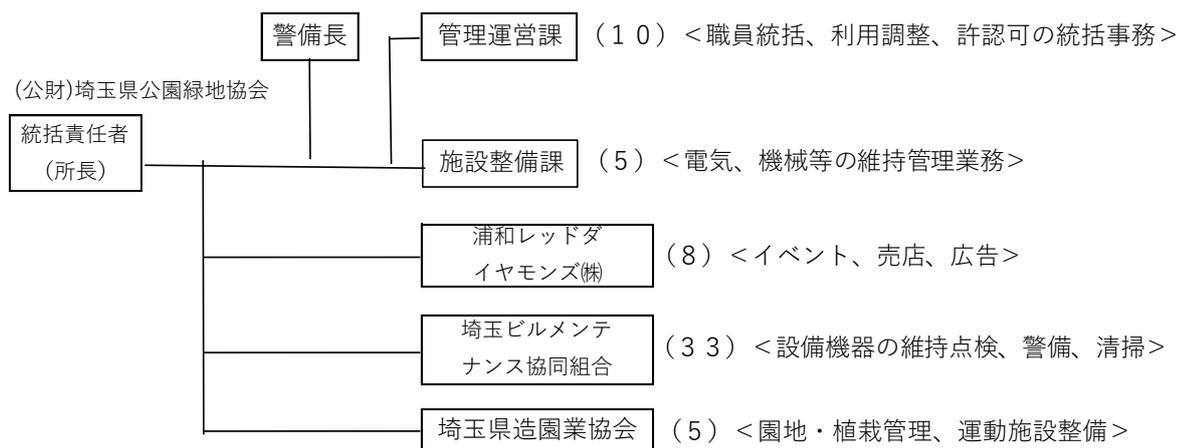
- ア 安全に利用ができ利用者に親しまれる公園づくりを進める。
- イ 環境に配慮したスタジアムの管理を行う。
- ウ 日本代表戦などの大規模試合の誘致を行う。
- エ 東京2020大会開催までの準備、調整を行う。
- オ サッカー以外の多様な利活用を図るため、にぎわい創出のためのイベントを開催。

(3) 収支予算書

(単位：千円、%)

項目	当年度予算額 a	前年度予算額 b	増減額 c=a-b	増減率(%) c/b*100	備考
指定管理料	300,000	302,932	△2,932	△1.0	
利用料金収入	424,069	422,164	1,905	0.5	
その他収入	229,340	213,968	15,372	7.2	
収入合計	953,409	939,064	14,345	1.5	
人件費	314,170	88,632	225,538	254.5	
事業費	639,239	850,432	△211,193	△24.8	
支出合計	953,409	939,064	14,345	1.5	
収支差額	0	0	0		

(4) 執行体制【63名】



(参 考)

○公園の概要

さいたま市の東部に位置し、観客席数63,700席のスタジアムのほか、サブグラウンド3面(うち人工芝1面)、フットサルコート2面などを設置している。

(供用面積約30.4ha)

○開設年月日 平成13年10月12日